

令和5年度

I 事業報告書

1 研究事業

1. 大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究

(1) 調査研究目的

船舶運航の自動化は、近年長足の進歩をとげつつあり、自動運航船の実用化も遠くない状況となってきたが、大阪湾は現状においても、船舶のふくそうに加えて漁業やマリレジャーとの関係で航行安全の確保に多くの課題を抱えているところであることから、今後、大阪湾において実施が見込まれる無人運航船の実証実験、更には自動運航の実現に向けた航行安全上の課題を抽出し、もって安全な自動運航の実現化に寄与することを目的とする。

(2) 委員会等

委員会 2 回、検討会 2 回 委員 16 名 関係機関 7 名

(3) 調査研究事項

- ア 自然環境、航行環境、漁業操業状況、海難発生状況等の把握及び分析
- イ AIS データによる船舶交通実態の把握及び解析並びに評価
- ウ 自動運航に関する研究、実証実験の現状把握及び関係資料の整理
- エ 課題の抽出

2. 大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に関する調査研究

(1) 調査研究目的

大阪湾においては、港内遊覧事業を含めて多数の小型旅客船が運航されているほか、多くの遊漁船や瀬渡船も運航されており、死傷者を伴う事故事例も散見されるところ、令和 7 年度に開催される予定の日本国際博覧会に向けて、新たな旅客船事業も計画されている。

これら船舶の運航実態と海難の発生状況、運航者の安全運航に関する意識レベルを調査検証するとともに、現状における小型旅客船事業による船舶安全運航上の留意点を抽出することにより航行船舶の海難防止に寄与することを目的とする。

(2) 委員会等

委員会 3 回 委員 12 名 関係機関 9 名

(3) 調査研究事項

- ア 自然環境、航行環境、海難発生状況等の把握及び分析
- イ 瀬渡船、遊漁船の活動状況の把握
- ウ 旅客船の運航状況及び日本国際博覧会に向けた新たな水上アクセスルート
トの把握
- エ AIS データによる船舶交通実態の把握及び解析並びに評価
- オ 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスク評価
- カ 課題の抽出及び留意点の検討

2 調査事業

1. 堺泉北港大津航路に係る航行安全対策検討業務（令和4年度から継続）

- (1) 委託者
大阪府（大阪港湾局）
- (2) 業務概要
堺泉北港大津航路の浚渫工事完了に伴い、大津航路の供用開始に関する船舶の航行安全対策を検討するもの。
- (3) 調査期間
当初 令和5年1月12日～令和5年2月28日
変更1回 令和5年1月12日～令和5年3月31日
変更2回 令和5年1月12日～令和5年6月30日
- (4) 委員会等
委員会 2回 委員12名 関係機関4名
- (5) 調査事項
大津航路の供用開始に係る船舶航行の安全性の検討及び安全対策の策定

2. 神戸港整備事業に伴う船舶航行安全対策検討業務（令和6年度継続）

- (1) 委託者
近畿地方整備局 神戸港湾事務所
- (2) 業務概要
神戸港の海上工事及び現地調査において周辺航行船舶の航行安全対策を学識経験者・海事関係者等からなる委員会を設置し、船舶航行への影響を検証して検討するもの。
- (3) 調査期間
当初 令和5年4月19日～令和6年3月15日
変更1回 令和5年4月19日～令和6年7月31日
- (4) 委員会等
委員会4回
ア、載荷試験編1回 委員12名、関係機関4名
イ、基礎工事編3回 委員25名、関係機関6名
- (5) 調査事項
ア 神戸港における載荷試験の実施に伴う周辺航行船舶の航行安全対策
イ 神戸港における橋脚の基礎工事に伴う周辺航行船舶の航行安全対策

伴う周辺航行船舶の航行安全対策を新港航路、灘浜航路及びその周辺の海域を航行する船舶への影響を踏まえて検討するとともに、学識経験者、海事関係者からなる委員会を組織して工事实施に関わる航行安全対策の合意形成を図るもの。

(3) 調査期間

令和6年2月22日～令和7年12月20日

(4) 委員会等

委員会 4回 委員28名 関係機関6名

(5) 調査事項

大阪湾岸道路西伸部新港・灘浜航路工区鋼斜張橋工事に伴う周辺航行船舶の航行安全対策

6. 高知港海岸航行安全検討業務（令和6年度継続）

(1) 委託者

四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所

(2) 業務概要

高知港海岸湾口地区津波防波堤（種崎側）の整備における航行安全対策について、学識経験者・海事関係者等からなる委員会を設置し、検討するもの。

(3) 調査期間

令和6年3月8日～令和6年8月30日

(4) 委員会等

委員会 3回 委員10名 関係機関5名

事前検討会 3回 委員5名 関係機関1名

(5) 調査事項

高知港海岸湾口地区津波防波堤（種崎側）の整備における航行安全対策

3 情 報 開 示

1. 神戸沖埋立処分場航行安全情報管理業務

(1) 委託者

大阪湾広域臨海環境整備センター

(2) 期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(3) 業務概要

阪神港神戸区第6区水域内の神戸沖埋立処分場の周辺海域における廃棄物海上輸送・揚陸作業、護岸工事等の実施に係る入出港船舶及び工事作業等の情報を収集・整理し、関係者に提供するとともに、ホームページ活用による広く一般への安全情報の広報周知、作業海域付近の監視、警戒船に対する指導等の航行安全情報管理業務を実施した。

2. 神戸港工事に伴う航行安全情報管理業務

(1) 委託者

近畿地方整備局

(2) 期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(3) 業務概要

神戸港工事の実施にあたり、工事期間中の工事安全確保と円滑な実施及び一般航行船舶の安全確保を図るため、工事作業船及び一般航行船舶等の情報収集・整理、関係者に提供するとともに、ホームページ活用による広く一般への安全情報の広報周知、作業海域付近の監視、工事作業船運航管理者等への助言等の航行安全情報管理業務を実施した。

3. 海難防止強調運動の実施（近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議）

(1) 事業目的

全国海難防止強調運動及び地方海難防止強調運動の展開、推進方法を企画、策定し実施することにより海難防止に寄与することを目的とする。

(2) 会議等

連絡会議（Web会議併用） 1回 構成員等 37名

(3) 審議事項

- ア 地方の特性を踏まえた海難防止強調運動の実施計画及び推進方法の策定
- イ 各団体の実施状況の整理、今後の広報活動等運動推進方法の策定

4. 講習会

(1) 月例会

毎月（6月、8月、12月を除く。）「月例会」を開催し、当会の事業に係る業務実施状況の報告等を行うとともに、海難防止に資するため学識経験者、海事関係機関等による講演を実施した。

(2) 地域部会

毎年1回、阪神港大阪区及び神戸区を除く主要港において海事関係者を対象とする「地域部会」を開催し、海難防止に関する講演等を実施して、当該地域における海難防止に関する啓発を行うもので、令和5年10月に姫路市において開催した。

(3) 業務運営会議

当会の事業の運営に関し専門的意見を聴くため、月1回（6、8、12月を除く。）「業務運営会議」を開催した。

(4) 進路警戒船等船長講習会

進路警戒船等の指定を受けた船舶の船長を対象に、海上交通安全法に基づく進路警戒船業務に係る講習会を令和6年2月に神戸市で開催し、22名が受講した。

5. 広報活動

(1) 会報の刊行

年4回、当会の調査研究の成果等を「会報」にとりまとめ、会員、海事関係者、図書館等に配布した。

(2) ホームページ等の充実

ア 事業目的

海難防止、航行安全に係る調査研究資料、港湾、海上交通に係る各種の情報、海難防止強調運動等の活動に係る広報資料等を収集、作成、編集するなどしてホームページ・データベースを充実し、海事関係者はもとより広く一般に広報することにより、海難防止思想を啓発し、海難防止に資することを目的とする。

イ 実施事項

データベースに保存している資料の充実・更新を図り、さらに、当会ホームページを活用して情報管理業務に関する各情報管理室が収集・整理した航行安全情報や工事情報等及び調査研究事業の結果を広く一般に周知するためホームページの更新を随時実施した。

4 会 議

1. 理事会及び総会

(1) 第34回 通常理事会

日 時	令和5年5月18日 (木)
場 所	神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階 (海王の間)
出席者	17名 (理事14名、監事3名)
議 案	第1号議案 特定費用準備資金資産の保有について
	第2号議案 令和4年度事業報告及び決算について
	第3号議案 第12回定時総会の開催について
	第4号議案 規程の一部改正について
	第5号議案 入会申し込み承認について
	第6号議案 その他

(2) 第12回 定時総会

日 時	令和5年6月20日 (火)
場 所	神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階 (瑞天東の間)
出席者	99名 (出席者41名 書面52名 委任6名)
出席役員	17名 (理事14名、監事3名)
議 案	第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について
	第2号議案 役員 (理事・監事) の選任・退任について
	第3号議案 名誉会員の推薦について
	第4号議案 その他

(3) 第35回 通常理事会

日 時	令和5年6月20日 (火)
場 所	神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階 (瑞天東の間)
出席者	18名 (理事15名、監事3名)
議 案	第1号議案 業務運営会議構成員の委嘱について
	第2号議案 入会申し込みの承認について
	第3号議案 その他

(4) 第36回 通常理事会

日 時	令和5年12月6日(水)
場 所	神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階(渚の間)
出席者	18名(理事15名、監事3名)
議 案	第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算書案について
	第2号議案 入会申し込みの承認について
	第3号議案 業務運営会議構成員の委嘱について
	第4号議案 その他

2. 業務運営会議

第100回(令和5年4月12日)

- ・業務報告等について
- ・理事会等の開催について
- ・その他

第101回(令和5年5月24日)

- ・業務報告等について
- ・第12回定時総会及び第35回通常理事会提出議案について
- ・その他

第102回(令和5年7月19日)

- ・業務報告等について
- ・常任調査研究委員の委嘱について
- ・その他

第103回(令和5年9月20日)

- ・業務報告等について
- ・その他

第104回(令和5年10月18日)

- ・業務報告等について
- ・令和6年度補助金交付申請について

- ・その他

第105回（令和5年11月15日）

- ・業務報告等について
- ・令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・業務運営会議構成員の委嘱について
- ・常任調査研究委員の委嘱について
- ・入会申し込み承認について
- ・その他

第106回（令和6年1月17日）

- ・業務報告等について
- ・その他

第107回（令和6年2月21日）

- ・業務報告等について
- ・その他

第108回（令和6年3月13日）

- ・業務報告等について
- ・令和6年度常任調査研究委員の委嘱について
- ・その他

3. 月 例 会

第99回から第107回まで9回の月例会を開催し、事業報告等を行うとともに、次のとおり講演を行った。

なお、第103回については、第10回地域部会を兼ねて姫路市で開催した。

第99回（令和5年4月20日）

「海運における市場原則に従ったCO₂排出削減措置の概要と見通し」

神戸大学大学院海事科学研究科国際海事研究センター

客員教授 長谷部 正道 氏

第100回（令和5年5月31日）

『LNG燃料フェリー』就航

株式会社フェリーさんふらわあ 常務取締役 國友 雄二 氏

第101回（令和5年7月26日）

「EVタンカー『あさひ』その計画、建造、就航」

旭タンカー株式会社 新規事業室 先進船舶技術顧問 土屋 岳彦 氏

第102回（令和5年9月28日）

「大阪湾北部海域における監視・情報提供体制の強化について」

第五管区海上保安本部 交通部 航行安全課 専門官 上原 干城 氏

第103回（兼第10回地域部会）（令和5年10月24日）

「姫路港における脱炭素化の推進について」

兵庫県中播磨県民センター 姫路港管理事務所 副所長 島津 典幸 氏

「豊かな海を求めて ～これまで、これから～」

兵庫県環境審議会 水環境部会 特別委員 反田 實 氏

第104回（令和5年11月21日）

「内航海運業界の現状と課題について」

日本内航海運組合総連合会 企画調査部長 畑本 郁彦 氏

第105回（令和6年2月1日）

「南海トラフ地震及び内陸型地震の影響と防災」

神戸管区气象台 南海トラフ地震防災官 伊藤 嘉記

第106回（令和6年2月26日）

「外国船監督業務について」

神戸運輸監理部 海上安全環境部 首席外国船監督官 河西 守行 氏

第107回（令和6年3月28日）

「地球温暖化による気象災害と健康への影響」

神戸大学 名誉教授 石田 廣史 氏

5 会員の現状

公益社団法人 神戸海難防止研究会

令和6年4月1日現在

区分	令和5年4月 会員数	退会 会員数	入会 会員数	令和6年度予定 会員数
会社団体会員	79名	1名	1名	79名
公益団体会員	16	0	0	16
個人会員	12	2	4	14
賛助会員	28	1	0	27
名誉会員	7	0	2	9
計	142	4	7	145

6 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。